

障害者支援施設 潔き聖母の家地域連携推進会議

日時：令和 8 年 1 月 28 日（水）

14：00～

- 1、 開会の挨拶
- 2、 出席者の紹介
- 3、 議題

会議設置の目的の説明

潔き聖母の家よりご報告

今後の連携方法についての意見交換

- 4、 施設見学
- 5、 閉会の挨拶

令和 7 年度 障害者支援施設 潔き聖母の家 地域連携推進会議

令和 8 年 1 月 28 日 (木)

14 : 00 ~

1. 会議設置の目的

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、関係機関・団体が連携し、支援体制の充実および課題解決を図ることを目的とする。

また、障がい福祉サービスに関する情報共有と協議を通じて、切れ目のない支援体制の構築を推進する。

- ・ 障がい福祉に関する地域課題・ニーズの把握と共有
- ・ 行政、相談支援事業所、福祉サービス事業所、医療・教育機関等の連携強化
- ・ 障がい福祉サービスの質の向上および支援体制の整備
- ・ 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

2. 現状報告

施設の状況

提供支援	定 員
生活介護	70 名 ※R8/1/22 現在 男性 38 名/女性 31 名 女性一名移行準備中
施設入所	70 名 ※R8/1/22 現在 男性 38 名/女性 31 名 女性一名移行準備中
短期入所	4 名/1 日 (男性 3 部屋、女性 2 部屋)
日中一時	なし

従業員数 86 名 (r7.4 現在)

特定技能 フィリピン籍 6 名

利用者様の状況

平均区分	区分 5 (障害区分 1～6 段階 数字が増えるほど重度)
平均年齢	男性 55.1 歳 女性 59.8 歳 最年少 男性 20 歳 最高齢 女性 90 歳
平均在籍期間	16 年 1 カ月

3.各委員会からの報告

安全委員会（毎月第一火曜日開催）より・ヒヤリハット事故報告

転倒による骨折……2 件

所在不明……1 件（地域の方警察のご協力により無事帰園）

事故報告……11 件（転倒や誤薬で通院や Dr 報告などの対応を必要とするもの）

ヒヤリハット……27 件

事故事例については、以前は浴室やトイレでの転倒による受傷事故が多かったのですが浴室や廊下の改修ご減少が見られました。現在は居室やローカなどを単独で行動中の転倒・転落などが増え重度・高齢化による ADL の低下が要因となっています。

身体拘束適正化・虐待防止委員会（毎月第一火曜日開催）より報告

身体拘束事例……2 例

虐待報告……0 件

委員会での今年度の取り組みについてご紹介

- ・委員会での身体拘束の適正化、虐待防止研修へ（管理者向け）
- ・身体拘束の適正化、虐待防止研修（特定技能向け）
- ・虐待防止・権利擁護研修（全職員向け）

計三回の研修

- ・虐待の芽チェックリスト（アンケートの実施）

などの取り組みを行なっています。

苦情解決委員会より（年 2 回開催）報告

R7 年度対応……1 件

当会議後に今年度 2 回目の苦情解決委員会を開催し、内容についてご報告させて頂き、委員よりご意見を伺います。

地域移行支援とご利用者様の意思確認について

施設の取り組み

- ・地域課外出レクへの参加について
- ・グループホーム見学について

今年度GHの外出レクに入所中のご利用者様に一緒に参加して頂く形で地域移行の推進をおこないました。今後GHの見学などを行い地域での生活がどのような物かご利用者様への説明を行なって行きます。

地域移行を希望されたご利用者様への対応について

ご本人様、ご家族、関係機関（病院等）をよりご意見を頂き本人への説明カンファレンスを行なっております。

4.今後の連携方法についての意見交換

（委員より質問）

現状報告の中で支援の質を高めていくと説明があったが、支援の質＝職員配置ではないか？全体で 80 名を超える職員がいる中で、現場の支援につく職員が少ないうように感じるが、実際どのくらいの職員が支援現場にいるのか教えて欲しい。

（施設からの回答）

職員配置については配置の基準を満たしたうえでサービスの提供を行っています。その上で直接支援以外の業務にあたる職員の総数で現在の職員数となっています。

います。施設としても支援の質の向上を目指し、職員採用に力を入れており支援スタッフの確保に努めています。実際の状況については会議後に今週の週案（全体の職員配置が明確にわかる表）を見て頂き実際の職員配置についての説明を行いました。

（委員よりご意見）

地域の方に施設を知って頂く事が今後の協力体制を築く上で重要となってくるが、以前の様にお祭りを開催し地域住民を招いたり、施設の方から打って出るのは難しくなってきたのではないか。

その中で地域の防災の面、避難場所としての機能としては非常に高いレベルの設備や訓練を行っているので地域の防災訓練や集会所としての機能を通じて地域との連携を深めてはどうか。

（施設からの回答）

避難所としては数十人規模の受け入れ体制は整っていますし、訓練も行っています。あくまでも福祉避難所としての準備ではありますが、今後地域・行政と連携し合同での訓練など行えるのであれば検討していきます

（施設からの意見）

現場の直接介護を行う職員の確保に尽力しています。特定技能（外国籍職員）の採用や就職フェアや周辺地域・福祉科のある学校との連携も行っていますが、更に職員増を目指している現状です。

しかし就職のフェア等についてはハローワークや福祉人材センターの管轄等もあり、臼杵地区での開催が無く苦戦をしています。行政との連携で臼杵地区での就職説明会の開催など職員雇用の分野でご協力頂けないでしょうか。

（臼杵市障害福祉より回答）

臼杵市の自立支援協議会でも同様の内容を話し合っており、来月 2/15 日に開催

する臼杵市福祉フォーラムで各事業所のブースを設置し職員募集や説明を行なえるよう準備をしていますので是非参加を検討してみてください。

（施設より）

福祉フォーラムについてはブースの申し込みについては既に行わせて頂いております。当日の職員募集、説明についても是非行いたいと思います。ご協力ありがとうございます。

障害者支援施設 潔き聖母の家地域連携推進会議

日時：令和 8 年 1 月 28 日（水）

出席者名簿

利用者代表	阿南みどり氏
保護者会代表	小野裕一氏（保護者代表）
地域住民代表	安東鉄男氏（臼杵市議会議員） 亀山隆宏氏（地域住民） 鹿嶋隆志氏（後見人/社会福祉士）
行政関係職員	二宮貴司氏（臼杵市福祉課参事） 薬師寺浩二氏（臼杵市福祉課副主幹）
潔き聖母の家職員（事務局）	富永ミツ子（施設長） 神野吉政（支援部長） 新田早百合（サービス管理責任者） 三ヶ尻由美子（サービス管理責任者）